­­皆さんこんにちは

信号の色は世界共通の3色です

その3色は何色ですか? もちろん赤，黄色，そして，青色ですよね

えっ，青色じゃなくて。緑色？いやいや，赤，黄色，青ですよ

すでにご存知の方も多いかもしれませんが

日本ではこれを青信号と呼びます

日本人にこれは何信号 ですか」

と聞いたら100人中100人が青信号と答えるでしょう；

しかし明らかに色としては緑色ですよね； これは

日本人の色彩感覚が変わっているからなのでしょうか

今回は日本で青信号と呼ぶ理由についてお話ししたいと思います

実は日本でも昔は緑信号と呼ばれていました

しかし100年ほど前メディアが青信号と呼ぶようになって

それが次第に浸透していき，今では

青信号としか呼ばなくなったのです

ただ，仮にメディアが青信号と言い始めたとしても

明らかにおかしいものであれば

浸透はしなかったはずです

なぜ日本人は青信号という呼ぶことをすんなりと受け入れられたのでしょうか

これはおそらくそもそも日本語では

緑という概念が希薄だからだと思います

今回の青信号の例に限らず

明らかに緑色なのに青と表記することが

少なくありません

例えばこちらは，青りんごですしこれは青汁

この状態は青々としたと表現します

このようにそもそも緑という概念自体が曖昧だから

こそ青信号という名前に当時の人は違和感を持たなかったのでしょう

しかしこれは日本人の色彩感覚がおかしいというわけではありません

つまり日本人にはこの信号の色が海の色と同じように見えているというわけではないということです

個人的な印象としてこのように, 明らかに緑色のものを青で表記するのは

青信号，青りんご，青汁のように。

それ自体が単語として

成立している場合に限ると思います

逆に言えば単語の色だけを問われた場合

緑色のものを青色だということはないと思います

つまり日本人にこれは何ですかと聞けば

間違いなく青りんごという答えが返ってくると思いますが

青りんごは何色ですか」と色を尋ねた場合

おそらく緑色と回答する人がほとんどだと思います

今回はなぜ日本では青信号と呼ぶのかについてお話ししてきました

皆さんの国でもこのような現象はありますでしょうか

コメント欄で教えていただければと思います

jlpt対策講座など複数の日本語のオンラインコースを提供していますので

興味のある方は概要欄のリンクをチェックしてみてください

それでは今回の内容はここまでまた次回お会いしましょう

さよなら